

令和6年度 シラバス 【生物基礎】

11 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択必修	2	6	8	2
教科書			学習書・その他教材	
新編 生物基礎（東京書籍）			学習書：新編 生物基礎（NHK出版）	

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要な勤労観や職業観を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導（スクーリング）を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題（レポート）を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。

学習目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

学習内容

1 編 生物の特徴（第1回レポート）	}	前期試験範囲
2 編 遺伝子とそのはたらき（第2・3回レポート）		
3 編 ヒトの体の調節（第4・5回レポート）	}	後期試験範囲
4 編 生物の多様性と生態系（第6回レポート）		

学習方法

- ・ レポート
教科書に沿って学習し、内容を理解することができるように、レポートの問題は基礎、基本的なものが中心となっています。学習書なども利用し、レポートの課題をこなすだけでなく、幅広い知識を身につけ、理解を深めるようにしましょう。
- ・ 授業
授業では、レポートの内容にかかわる重要な法則の説明や例題の解説等をします。事前にレポートの問題を解答し、不明な点や疑問点を明確にしておいた方が、授業の内容を理解しやすいと思います。
- ・ 校外授業と放送視聴
学校での授業のほかに、校外の生物関係の施設見学をしたり、NHKEテレの「高校講座 生物基礎」を視聴してレポートを書くことで、授業への出席に代えることが出来ます。上手に活用して、必要な出席時数（8時間以上）を満たすようにしてください。
- ・ 試験
試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。改めて教科書・学習書を調べ直す必要はありませんが、レポートの内容や計算方法等を理解してきてください。

評価の観点の趣旨		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物や生命現象に対する概念を理解し、知識を身に付けている。 観察・実験などの基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生命現象の中から課題や仮説を設定し、観察、実験などから得られた結果を科学的に考察し、根拠を基に導き出した考えを表現している。	生物や生命現象に関する事項に対して主体的に関心を持ち、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。

評価方法		
各観点における評価方法は次のとおりです。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

担当者からの一言
この科目では、生物や生命現象について学習します。レポートや授業でわからないところは、遠慮せずに質問してください。